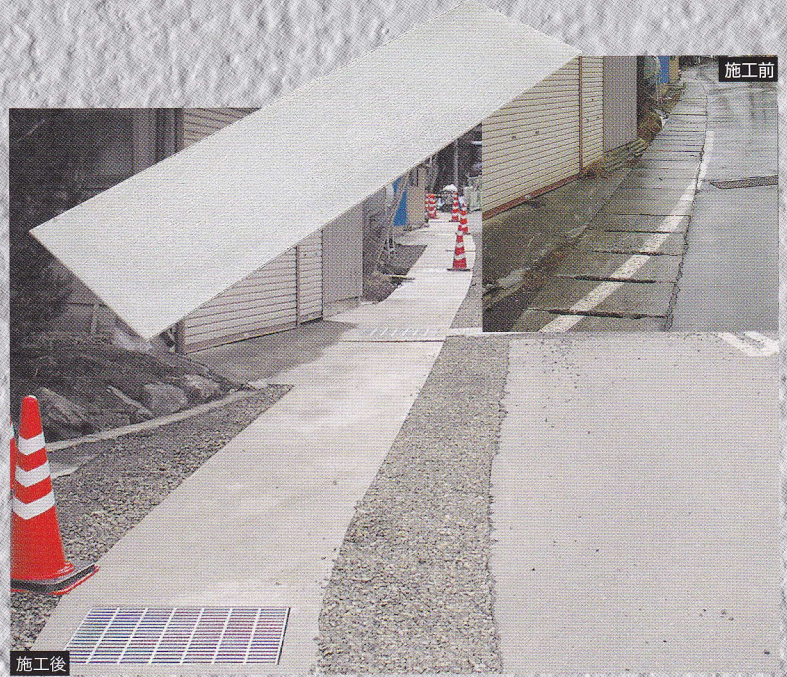


GRC製側溝用埋設型枠

KCフォーム



埋設集水型枠

スリットフォーム



GRC製大型側溝用埋設型枠

JSフォーム



側溝暗渠化工事における施工性の向上、建設廃材発生防止に

KCフォーム・JSフォーム

KCフォーム・JSフォームはGRC(ガラス繊維補強セメント)の特長である、高い曲げ強度と剛性を活かした、側溝蓋を現場で打設する際の埋設型枠です。側溝の暗渠化の際、従来の型枠工事の手間が省け、施工が容易でトータルコストの大幅な低減が可能です。

建設廃材の削減・工期短縮 施工性アップ・コスト削減

KCフォーム・JSフォームの特長

- 支持材・型枠等の建設廃材が発生しません。
- 型枠を組む時間がかからず、簡単に施工できます。
- 通水中でも施工が可能のため工期が短縮できます。
- 高い曲げ強度と剛性があるために、製品が軽く敷設が容易です。
- ダイヤモンドカッターによる現場加工が簡単です。
- 施工に熟練を要しません。
- ゼロアスベスト製品ですので、工事中も安心です。
- コンクリートとの付着がよく、鉄筋かぶりの一部として機能し側溝と一体化されます。

側溝の暗渠化のメリット

騒音解消

車両走行時の側溝蓋版のガタツキによる騒音を解消します。

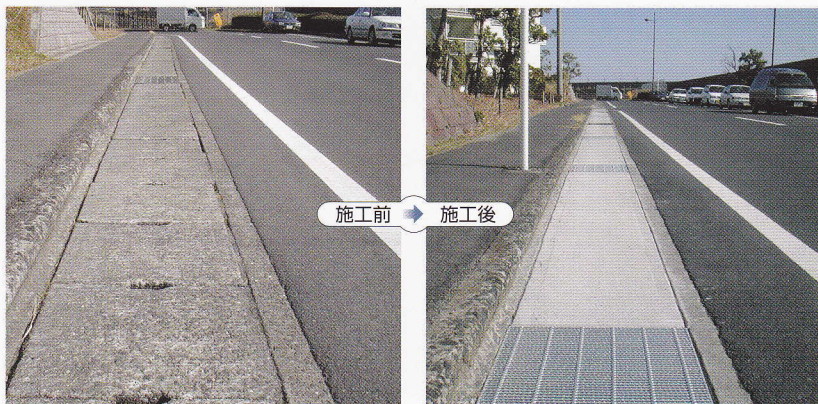
経済性・環境対策

側溝そのものの入れ替えではありませんので経済的で産業廃棄物の発生も最小限です。

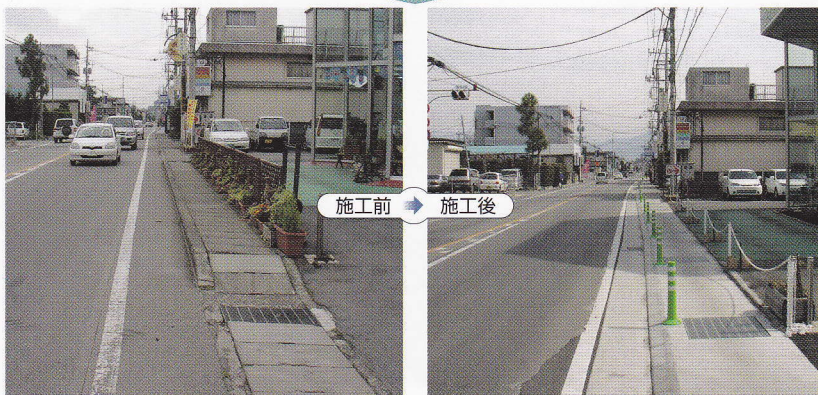
バリアフリー

先進国の中でもっとも高齢化が進むと予想されている日本では、誰もが安心して快適に移動できる歩行空間が求められています。都市部の幅の狭い歩道に設置されている側溝は蓋の振動による騒音公害の原因であると同時に、歩行の際や自転車走行時の大きな障害となっています。側溝の暗渠化により歩道の有効幅員を拡張でき、また安全性の向上が可能です。

側溝蓋のみ改修した例



側溝蓋周辺歩道部も改修した例

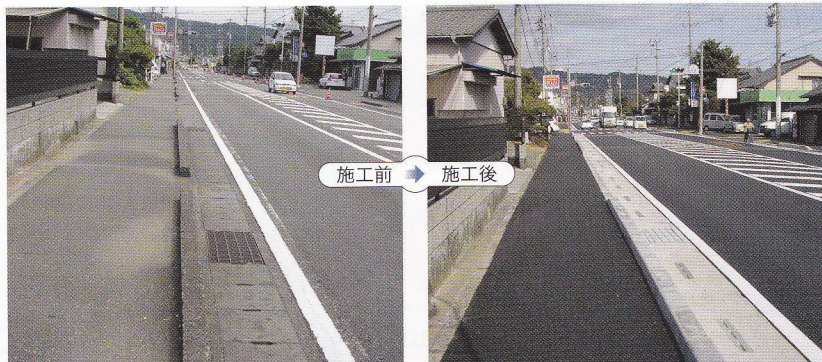
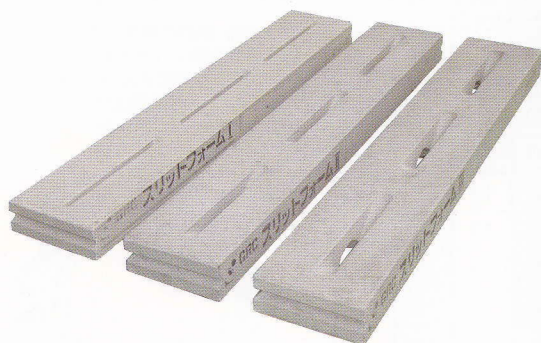


KC及びJSフォームによる暗渠化工事で使用する集水部材です。

スリットフォーム

スリットフォームの特長

- 雨水の集まりやすい表面V型へこみ形状と、スリット中央部の落口半球体空間が、より排水機能を高めています。
- スリット幅は細目(8mm)並目(15mm)太目(20mm)の3種類を用意してあります。
- スリット部は、棒状のものでメンテナンスがし易い形状になっています。
- 現場打ちコンクリートと同じコンクリート素材なので、一体化でき、更に表面質感も周辺に馴染みます。
- 同類用途の鋼製品と比較しても、経済的で、長期耐久性もあります。

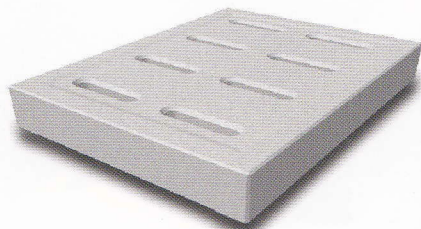


暗渠化工事で側溝上に排水性舗装を施工する際に使用する埋設蓋です。

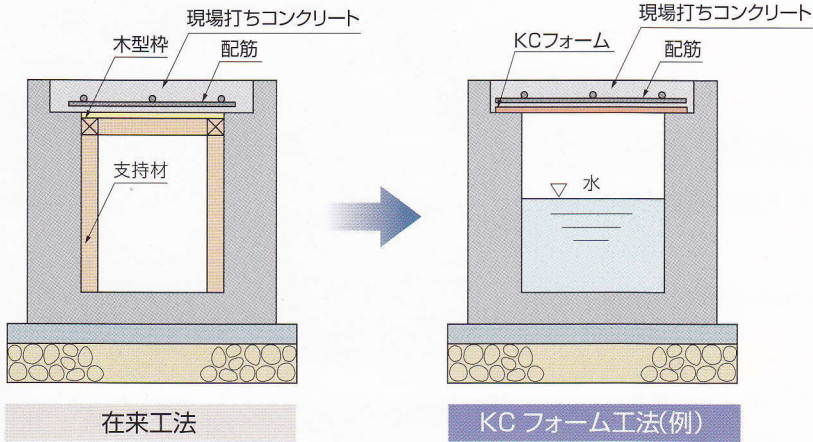
レインスルー

レインスルーの特長

- 既存側溝をそのまま使用することで、撤去、新規設置の必要がなく、工期(即日復旧)、工事費を大幅に削減できます。
- 全面をアスファルト舗装で施工するため、継ぎ目のない、安全、安心な歩行空間を創造できます。
- 表層アスファルトを浸透した水が、直接集水穴を通して側溝に流れ込むため、高い集水能力を持っています。
- レインスルー、及び繊維ネットが無機素材のため、腐食の心配がありません。



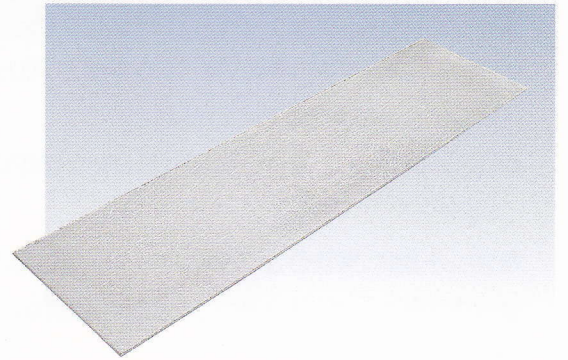
KCフォームを置くだけで施工可能



KCフォーム

NETIS登録番号(QS-980217)

溝幅250mm~600mmの側溝に対応します。



※施工時は表面のざらついた面が上となるように敷設してください。製品に直接乗らないでください。

■寸法・重量表

呼称	W	t(※)	L	参考重量(kg)	参考歩掛(人/m)	(mm)
250用	340	6	1000	4.4	0.0026	
300用	390	6	1000	5.0		
350用	440	8	1000	7.6	0.0035	
400用	490	8	1000	8.4		
450用	540	10	1000	11.6	0.007	
500用	590	10	1000	12.6		
550用	640	13	1000	17.8	0.014	
600用	690	13	1000	19.2		

※tは標準板厚です。

※Wは敷設時の両側掛りしろをそれぞれ45mmに設定しています。

■蓋厚・側溝幅によるKCフォームの適用厚さ一覧表 (mm)

蓋厚	側溝幅	250	300	350	400	450	500	550	600
100	6	6	8	8	10	10	13	13	
110	6	6	8	8	10	10	13	13	
120	6	6	8	8	10	10	13	13	
130	6	6	8	8	10	10	13	13	
140	6	8	8	10	10	13	13	13	
150	6	8	8	10	10	13	13	13	
160	6	8	8	10	10	13	13	13	受注生産
170	8	8	8	10	10	13	13	13	受注生産
180	8	8	8	10	13	13	13	13	受注生産
190	8	8	10	10	13	13	13	13	受注生産 受注生産
200	8	8	10	10	13	13	13	13	受注生産 受注生産

KCフォームの標準板厚

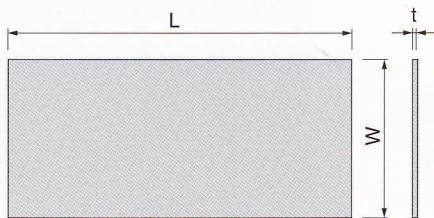
建設技術審査証明書交付商品

本製品は、建設技術審査証明協議会会員である財団法人土木研究センターの「建設技術審査証明事業(土木系材料・製品・技術)」の技術審査を受け、建設技術審査証明書の交付を受けています。



建設技術審査証明事業
(土木系材料・製品・技術)
(財)土木研究センター
建技審証第0329号

形状・寸法

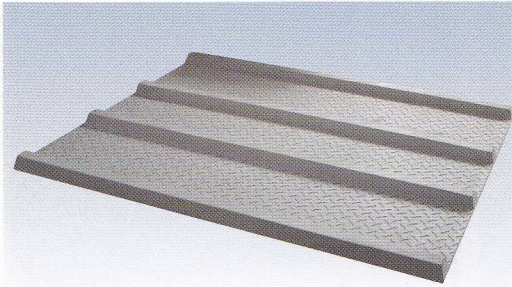


施工前 → 施工後



JSフォーム

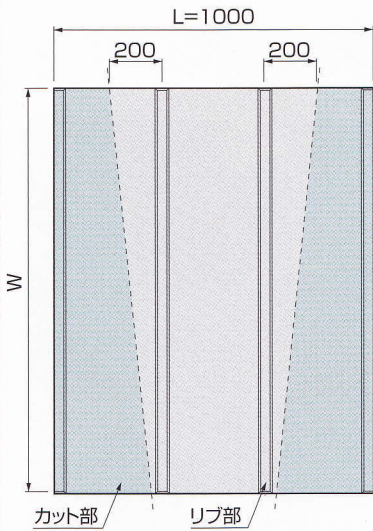
鉄筋入りのリブ構造により、高強度、軽量のまま溝幅700mm～1500mmの大スパン側溝に対応します。



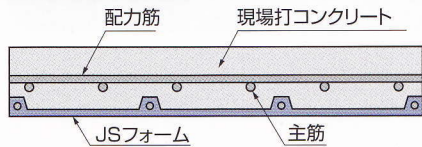
※施工時はリブのついた面が上となるように敷設してください。
製品に直接乗らないでください。

側溝湾曲部の参考敷設施工要領

※下図に示すようにJSフォームをカットする場合リブ部よりのとび出しの寸法は、200mmを最大とします。



L方向打設断面図



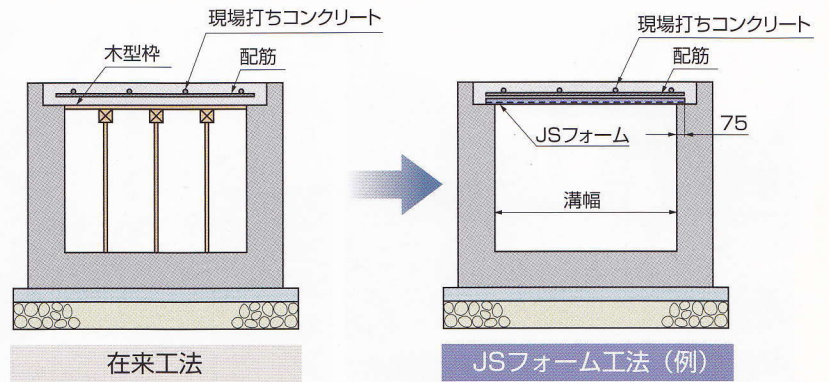
※リブ部を上向きにして施工します。

寸法・重量表

製品タイプ	呼称	W	参考重量(kg)	溝幅	参考歩掛(人/m)
A型	A700用	850	26.4	～ 700	0.014
	A800用	950	29.5	～ 800	
	A900用	1050	32.6	～ 900	
	A1000用	1150	35.7	～1000	
B型	B1000用	1150	43.7	～1000	0.027
	B1100用	1250	47.5	～1100	
	B1200用	1350	51.3	～1200	
C型	C1100用	1250	51.3	～1100	0.027
	C1200用	1350	55.4	～1200	
	C1300用	1450	59.5	～1300	
	C1400用	1550	63.6	～1400	
	C1500用	1650	67.7	～1500	

●上表は、蓋厚180mm以下の場合を示したものです。その他の場合については構造、現場打コンクリート許容最大厚さを算定いたします。
※Wは敷設時の両側の掛かりしろをそれぞれ75mmに設定しています。

JSフォームを置くだけで施工可能



リブ構造部分

製品タイプ	A型 (溝幅700～溝幅1000)	B型 (溝幅1000～溝幅1200)	C型 (溝幅1100～溝幅1500)
リブ断面形状			

蓋厚・側溝幅によるJSフォームの適用タイプ一覧表

蓋厚	側溝幅	700	800	900	1000	1100	1200	1300	1400	1500
120	A型	A型	A型	A型	A型	B型	B型	C型	C型	C型
130	A型	A型	A型	A型	A型	B型	B型	C型	C型	C型
140	A型	A型	A型	A型	A型	B型	B型	C型	C型	C型
150	A型	A型	A型	A型	A型	B型	B型	C型	C型	C型
160	A型	A型	A型	A型	A型	B型	B型	C型	C型	C型
170	A型	A型	A型	A型	A型	B型	B型	C型	C型	C型
180	A型	A型	A型	A型	A型	B型	B型	C型	C型	C型
190	A型	A型	A型	A型	A型	B型	C型	C型	C型	
200	A型	A型	A型	A型	A型	B型	C型	C型	C型	
210	A型	A型	A型	A型	A型	B型	C型	C型	C型	
220	A型	A型	A型	B型	B型	C型	C型			
230	A型	A型	A型	B型	C型	C型	C型			
240	A型	A型	A型	B型	C型	C型	C型			
250	A型	A型	A型	B型	C型	C型	C型			
260	A型	A型	A型	B型	C型	C型	C型			
270	A型	A型	A型	B型	C型	C型				
280	A型	A型	A型	B型	C型	C型				
290	A型	A型	B型	B型	C型	C型				
300	A型	A型	B型	C型	C型	C型				

の範囲は別途ご相談ください。